

松本市市民活動

サポートセンター通信

No.2

発行元：松本市市民活動サポートセンター

〒390-0874 松本市大手 3-8-13

松本市役所大手事務所 2階

TEL/FAX 0263-88-2988

E-mail support-center@support-center.jp

URL http://www.support-center.jp

サポートセンター自主事業開催報告

松本市内大学連携交流会

昨年12月21日(水)、当センターにおいて、松本市内の大学生、NPO団体、社会福祉協議会、行政職員などの参加による「松本市大学連携交流会」を開催しました。

交流会は、司会の白戸洋さん(松本大学助教授)の提案で、「松本市の良い点・悪い点」を、参加者一人ひとりが発言することから始まり、信州大学ボランティアサークル『ボルネット』から「サークルの概要、活動内容、今後の予定」が発表され、松本大学からは「むかごちゃんプロジェクト」「ものごさパソコン教室」といった産業、商業を通しての地域づくりへの関わりが発表されました。

どちらの発表からも、地域との関わりや地域で経験できることの楽しさやすばらしさが伝わり、「自分達が地域を変えていけるのではないかと、変えていかなくてはならないのではないかと」という思いが感じられました。

事後のアンケート結果では80%以上の学生が「満足」と答えており、「他の大学の活動を知ることが出来て面白かった」、「月に一度はこのような会を開いて欲しい」という声も聞かれました。

今回の交流会で、大学における地域での活動への理解、また当センターを知ってもらえたことで、松本市における産・官・学の連携の第一歩を踏み出すことができたのではないかと思います。(文・蜜沢寿恵)

サポートセンターが活動の拠点となって、新しい市民活動が生まれるといいな!



松本市内 NPO 法人情報交換会 + 助成金・補助金学習会

1月11日(水)、当センターにおいて、松本市内を中心とした32団体40名の、NPO法人、NPO法人化を検討中の任意団体の参加により、単独自主事業第2弾となる「松本市内NPO法人情報交換会+助成金・補助金学習会」を開催しました。

第1部の『助成金補助金学習会』は、講師に株式会社MKコンサルティング代表取締役黒沢正行さん、長野県経営戦略局コモンズ・地域政策チーム企画員の柳沢秀信さん、同主事の田中靖さんを迎え開かれました。

黒沢さんからは「助成金・補助金獲得法」と題して、NPO法人の財源として助成金・補助金の位置づけ、助成金・補助金情報の収集方法、さらには実際に助成を受けやすい申請書類作成のテクニックなど、大変実践的な内容の講義がありました。

また、柳沢さん、田中さんからは、コモンズ支援金の概要・申請方法、採択事業の事例説明などがありました。

第2部の「情報交換会・名刺交換会」では、事前準備していただいた、各団体の活動PR資料を配布し、活発な名刺交換会となりました。

イベント企画運営にはまだまだ不慣れな当センターですが、アンケートなどの声を活かし、今後一層の努力をしていきたいと思っております。(文・太田圭郁)

正面は講師を務めてくださった県企画員柳沢さんと田中さん。みなさん真剣に聞き入っていました。



このコーナーでは当センターに団体登録のある、様々な活動団体をご紹介します。記念すべき！第1回は、今春 NPO 法人化する語学ボランティア団体「アルプス善意通訳協会」と、昨年浅間温泉に相談窓口を設置した NPO 法人「ライフデザインセンター」の2団体にお話を伺ってきました。

アルプス善意通訳協会



「ガイドをすることは、(ガイドを受ける)相手だけでなく、自分自身が楽しくて仕方ない。だから続けられる。」 お話を伺った3人は口を揃えてそう語った。

松本に雪舞う 2月3日、アルプス善意通訳協会(ALSA) 会長小笠原陽一郎氏、副会長市川兼三氏、同副会長北上常孝氏の御三方にお会いすることができた。

団体設立は1992年4月。当時長野オリンピック・パラリンピックの通訳強化トレーニングセミナーを受講していた受講生が中心となり、「オリンピック・パラリンピックで終わるのではなく、地域の中で外国人に日本・長野県・松本の文化を伝え郷土を理解してもらえる活動をしていこう」との思いから、語学ボランティア団体として発足した。

現在、会員は80名で、その年齢層は10代から80代までと、たいへん幅広い。

活動は、松本城をはじめとする市内観光地の外国語(英語が主)での案内や、国際学会などの通訳ボランティアが主であり、また、会員の資質向上のための研修会や語学講座も行っている。

松本城では、毎年5月から11月の間、城内に特設テントを張り、会員が当番制で待機する。平成17年度の松本城ガイドの実績は過去最多の50数カ国におよび、その数は1538人に上った。

10年以上ガイドを続ける副会長の北上さんが、「これはシアトルから観光に来た方が御礼に送ってくれたものなんです。」

そういって見せてくれたシアトルマリナーズのキャップ。すっかり北上さんに馴染んでいるその帽子、それはとても暖かい交流の証である。

現在同協会はNPO法人化を目指し申請中で、今春から新たに法人格を持つ団体となる。法人化することで、認知度を高め、信頼度を増していきたいと話す。

「今後も着実に、一人ひとりに喜んでもらえるような活動をしたい。」そう小笠原会長は締めくくった。

松本城を訪れる際には、テントに立ち寄ってみてはいかがだろう。きっと良い笑顔に出会えるはずだ。

(取材・文 上川留誠)

問合せ：アルプス善意通訳協会
〒399-0026 松本市寿中1-3-8
TEL：0263-57-8601
会長：小笠原陽一郎

4月22日(土)
Mウィング3F-2
にて総会開催。公開講演会を行いますので、ぜひご参加ください。

特定非営利活動法人 ライフデザインセンター

人生のエンディングにおいて人間の死と真正面から向き合い、ライフデザインを提案する特定非営利活動法人ライフデザインセンター松本相談窓口(以下LDC)で、専務理事の久島和子さんにお話を伺った。

2000年に特定非営利活動法人日本生前契約等決済機構の勉強会に参加した税理士の故水澤茂夫氏が長野県NPOセンター代表理事の高橋卓志氏に相談したのがきっかけとなり準備会が発足。同年の水澤氏の死去後も、遺志を継ぐ形で現在の代表理事3名が中心となり、2001年6月1日に長野県認証を得た。久島さんは第2回の準備会から参加し、2005年の松本相談窓口開設に伴い着任した。

LDCの事業の一部を紹介すると、

- ・情報推進事業：情報誌「My らいふ」を毎月1回発行し、ホームページも毎月更新
- ・相談事業：松本相談窓口では2005事業年度に26件
- ・生前契約・履行事業(主体的事業)：2005年度末日での契約数は委任契約3件、公正証書による委任契約2件、公正証書による委任契約+任意後見契約16件、その他3件で計24件
- ・ノート出版・普及事業：「旅立ちのアレンジ」、「旅立ちデザインノート」の改訂第2版が2005年4月1日付で完成、各5,000部を印刷
- ・居宅介護支援事業：指定居宅介護支援事業所ライフデザインを2005年3月に立ち上げ

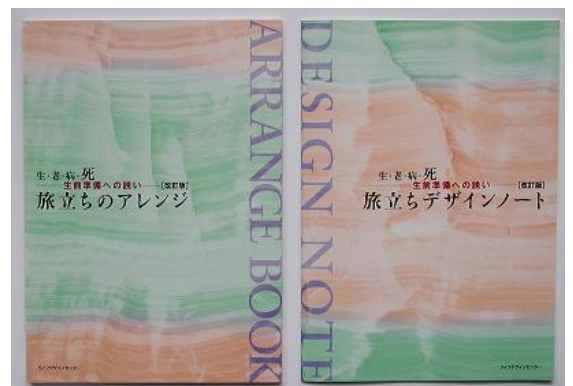
その他、セミナー等への講師派遣、セミナー・講座の開催の他、訪問介護事業の第三者評価、サービス適正化委員会等の事業も実施している。

事務局スタッフは少ないが、各関連分野の専門家である理事を事務局がコーディネートしつつ事業を展開。設立から丸5年が経過したが設立時のメンバーが健在であり、継続性と責任感を併せ持った一緒に仕事を出来る人材の育成にも配慮しており、その為には事業基盤の確保を重要課題と考えている。

会員になるには、松本相談窓口にて電話→入会申込書を郵送(会費月500円/年6,000円)。

久島さんは「今後も高齢化する団塊の世代に対しライフデザインの選択肢の提案をしていきたい」と話した。

(取材・文 太田圭郁)



問合せ：特定非営利活動法人
ライフデザインセンター
松本相談窓口
〒390-0303 松本市浅間温泉3-31-27
TEL/FAX：0263-46-2020
専務理事：久島和子

2月28日(土)
市民活動サポートセンター
にて「戒名とこれからの墓」の勉強会が開催されます。ぜひご参加ください。

助成金情報

※1・その他の助成金情報は、当センターにて閲覧することができます。※2・助成金を受けるには、こちらに掲載しきれない細かな制約などがあります。詳細については、主催団体等にお問合せください。

<p>2006 年全労済環境活動助成 助成元：全労済 締切：2006 年 4 月 21 日 自然環境の保全に関する活動、生活の中で環境負荷を減らす活動、環境に配慮したまちづくりに対する助成。 ￥助成額：30 万円～100 万円。助成総額 3000 万円。 [問い合わせ]特定非営利活動法人・地球と未来の環境基金 (EFF) 全労済環境活動助成事務局 (担当：古瀬・佐々木) TEL 03-5298-6644(平日 10 時～17 時) FAX 03-5298-6635 http://www.zenrosai.or.jp/zenrosai/topics/2006/060301.asp</p>	<p>平成 18 年度「循環型社会形成実証事業」公募 助成元：環境省 締切：2006 年 3 月 17 日 NGO・NPO 等の民間団体や事業者が地方公共団体等と連携して行うリデュース・リユース・リサイクルやグリーン購入などの循環型社会形成に向けた先駆的な実証事業を公募します。 ￥助成金額 100～1000 万円程度。 [問い合わせ]中部地方環境事務所 TEL 052-955-2130 FAX 052-951-8889 http://www.env.go.jp/press/press.php3?serial=6767</p>
<p>平成 18 年度公益信託自然保護ボランティアファンド活動助成 助成元：自然公園財団 締切：2006 年 4 月 7 日 国立公園及び国定公園の自然保護上、重要な地域における自然環境の保全に資する実践的活動で地域の理解や参加協力を得られる広範なボランティア活動を支援する。 ￥助成額 50 万円。助成総額 500 万円。 [問い合わせ]自然公園財団自然保護ボランティアファンド担当 TEL 03-3592-1171 FAX 03-3592-1175</p>	<p>平成 18 年度助成事業 助成元：ポーラ伝統文化振興財団 締切：2006 年 3 月 31 日 伝統工芸技術、伝統芸能、民俗芸能及び行事など、日本の無形の伝統文化財の記録や研究、保存・伝承活動に対する助成。個人及び団体を対象。￥助成額 30 万円～200 万円程度。 [問い合わせ]ポーラ伝統文化振興財団 TEL 03-3561-7408 FAX 03-3561-7480 http://www.polaculture.jp/</p>
<p>平成 18 年度 街なか再生 NPO 等助成金 助成元：財団法人区画整理促進機構 締切：2006 年 3 月 31 日 中心市街地において自発的に問題解決に取り組む市民参加型の活動・事業を支援し、街なか再生に寄与することが目的。 ￥助成限度額 50 万円以内。助成総額 200 万円以内。 [問い合わせ]街なか再生全国支援センター TEL 03-3230-8477 FAX 03-3230-4514 http://www.sokusin.or.jp/machinaka/</p>	<p>平成 18 年度障がい者福祉助成金 助成元：ヤマト福祉財団 締切：2006 年 3 月 31 日 障がい者施設の改善・整備・備品等の購入、各種会議・講演・研修事業、各種出版・啓発活動、各種調査・研究事業、文化事業・スポーツ活動等に対する助成。￥助成額 100 万円上限。 [問い合わせ]福祉助成金事務局 TEL 03-3248-0691 FAX 03-3542-5165 http://www.yamato-fukushi.jp/</p>
<p>2006 年度改修事業助成 (第 1 回申請受付) 助成元：日本財団 締切：2006 年 3 月 20 日 拠点整備に対する改修事業支援。既存の福祉施設を改装する事業、既存建物を改装し、新たに福祉施設を整備する事業、小規模作業所における作業用機器を整備する事業など [問い合わせ]日本財団 TEL 03-6229-5111 (総合案内) http://www.nippon-foundation.or.jp/vol/kaishu/</p>	<p>観光ルネサンス補助制度 助成元：国土交通省 締切：2006 年 3 月 31 日 観光地の活性化に取り組む「民間」の活動を支援します。 ￥補助対象経費の 40% (上限) [問い合わせ]総合政策局・観光地域振興課 (内線 27528) 事業統括調整官室 (内線 24543) TEL 03-5253-8312 http://www.mlit.go.jp/sogoseisaku/kanko/top.html</p>

松本市ボランティアセンターより募集のご案内

花と緑の好きな方集まれ！ 「園芸ボランティア講座」

日時：3月17日(金)・28日(火) 13:00-15:30
 場所：松本市市民活動サポートセンター (松本市役所大手事務所2階) フリースペース
 定員：15名ほど 申込み、問合せはボランティアセンター
 費用：1000円(実費) **TEL: 25-7311 まで!**

春はもうすぐそこです！みんなで春いっぱい「寄せ植え」を行いましょう。

安心して活動するために・・・ ボランティア活動保険のご案内



ボランティア活動中に、ボランティア自身の負傷や他者を負傷させてしまった、あるいは物を壊してしまった等の事故を補償します。

◆掛金(年間) プランA・B・C(基本タイプ)
 A:300円 B:500円 C:700円

運転ボランティアしてみませんか☆

障害をお持ちの方や高齢者の方が、通院や買い物などで外出が必要になったときに、送迎のお手伝いをしていただく『運転ボランティア』を募集します！

**ボランティアの激減で困っております。
皆さまのお力お貸しください!!**



※ 車両につきましては、社会福祉協議会の福祉自動車(スロープ付の軽自動車・普通自動車)を使用します。



イベント・募集（※申込みは、各主催団体へ直接お尋ねください。）

おしゃべり処 日だまり・話(Wa)

何だか理由もなくさみしい、一歩を踏み出せないで友達ができない・・・など、こんな気持ちを誰かに聴いてもらえば楽になりませんか？ボランティアサークル「日だまり」メンバーが、あなたのお話をお聴きします。

日時：毎週金曜日 AM10:00-12:00

場所：松本市市民活動サポートセンター
フリースペース

料金：無料

日本チェルノブイリ連帯基金(JCF)

創立メモリアルイベント

- 4月7日(金) イベントオープニングパーティ(松本市美術館)
- 4月8日(土) 「チェルノブイリからの伝言」(松本市美術館)
- 4月8日(土)・5月7日(日) 本橋一成 写真展(松本市美術館)
- 4月22日(土) 子ども達と絵の交換を(松本市美術館講座室)
- 4月23日(日) 「チェルノブイリからの伝言」(有楽町朝日ホール)
- 4月30日(日) 「未来への誓い」(上映&トーク)(松本市芸術館小ホール)
問合せ：JCF(日本チェルノブイリ連帯基金) TEL:0263-46-4218

第15回耳の日フェスティバル

テーマ「見て感じて！心で聴いて！
伝えたいこの想い！」

日時：3月5日(日) AM10:00-PM3:00

場所：松本市総合社会福祉センター
4階

主催：NPO法人 松本市聴覚障害者社会参加支援協会

問合せ：TEL 26-9524
＝大勢のご参加お待ちしております＝

NPO 決算セミナー

「多くの会計の悩み・不安」をNPO会計のプロとともに、解決してみませんか。

- 3月24日(金) 長野県NPOセンター
講師：高橋佐智子氏(会計士補)
- 3月27日(月) 上田市情報ライブラリー
講師：矢野実氏(税理士)
- 3月28日(火) 松本市市民活動サポートセンター
講師：上原明子氏(税理士)
参加費：2500円/1人(税込)
時間：13:30-15:30
※定員になり次第締切りいたします。
問合せ：長野県NPOセンター
(担当・胡桃) TEL/026-269-0015
E-mail/info@npo-nagano.org

NPO法人ライフデザインセンター 松本にも相談窓口設置！

ライフデザインセンターでは、松本の相談窓口を2005年6月から以下の場所に常設しております。(担当・久島)

住所：松本市浅間温泉3-31-27

東御殿の湯内

TEL/0263-46-2020

気軽に遊びにきてくださいね。

グループホーム開設しています。

NPO法人ハートラインまつもとは、精神障害者グループホーム2カ所(北小松アパート・ハートラインことぶき)と、共同作業所(喫茶店)を、松本市寿北(豊町)に開設しています。

問合せ：TEL/86-8010

情報大募集！

こちらのInformationコーナーに掲載したい情報などがございましたら、当センターまで、どしどしご連絡ください。TEL/FAX/E-mail/センターHP(連絡先は本誌1ページ上段記載)にてお待ちしております。

サポートセンターからのお知らせ・募集

センターHPできました！

去る1月25日に、当センターのホームページが開設されました。もうみなさんご覧になってくださいましたか？ホットな情報を発信していくためには、みなさんからの情報が不可欠です。会員募集や、イベントの告知、団体紹介など随時お待ちしております！

<http://www.support-center.jp>

ホームページ上の「連絡・問合せ」フォームにて、情報をお寄せください。

◆松本市公式HP「くるくるねっと松本」のトップページリンクからも入れます。



訂正のお願い

前号(創刊号)の別紙「NPO法人一覧表」の内容訂正をお願いします。(H18.2.14現在)

⇒信州緑花隊 定款の目的部分の「・・・地域社会に貢献する」以下の、文章(「多様な・・・」以降)を削除。

⇒信州・大学連携プロジェクト 代表者名「中嶋間多」氏を「鷲見真一」氏に変更。

⇒躍進 住所等を以下のように変更。訂正後：390-0871 松本市桐1-5-36

URL：<http://yakushin.ptu.jp>

今後も訂正・修正などお気づきの点がございましたら、センターまでご連絡ください。

スタッフ紹介



前号で紹介したスタッフに加え、新たに一人仲間が増えました。新メンバーを紹介します。(以下ひとことごあいさつです。)

◆わからないことだらけで、センターの皆さんに話を聞いたり、勉強をしています。自分にできることを増やし、市民の方の役に立つように頑張りたいと思います！(みつ)

編集後記：レターケースの団体利用申込み受け付け中！あなたの団体の活動パンフレットなどを設置してPRしましょう！また、情報誌で今後扱ってほしい情報などのご意見もお待ちしております。(上川)アルプス善意通訳の皆さま、LDCの皆さま、お忙しい中取材をお受けいただきありがとうございます。(太田)